

## 第2章 プロジェクトを取り巻く状況

### 2-1 プロジェクトの実施体制

本プロジェクトは、教育省が監督官庁となり、プロジェクトの実施責任機関は、教育省傘下の教育メディア庁（EMA：Educational Media Agency）であり、アジスアベバ、アファール州、オロミア州、ディレダワ州、SNNP 州、ハラリ州、ティグレイ州の各州教育局（REB：Regional Education Bureau）が、実施にあたる。

遠隔地教育放送実施に関する教育省、EMA、REB の関係は図 2-1-1 のとおりである。

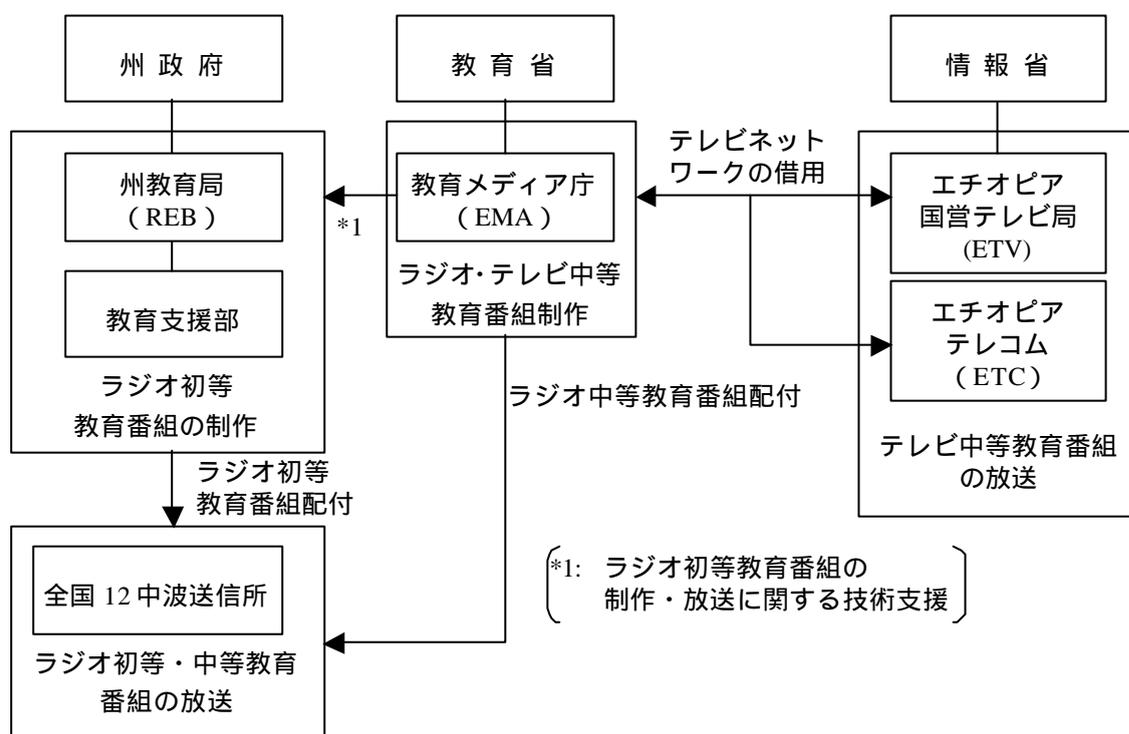


図 2-1-1 遠隔地教育実施機関

1994 年に発表された「教育セクター戦略」の方針に従い、連邦政府によって教育改革が実施された。この改革により教育行政の地方分権化が図られ初等・中等教育の実施に係る権限が大幅に各州教育局に移管された。ラジオによる教育放送番組も以前は全国統一番組が制作・放送されていたが、地方分権化に伴い連邦政府から示された下記方針のもとに各州レベルで放送が行われるようになった。各州は、独自のカリキュラムに従い各州独自の文化、慣習を取り入れたり、地方言語を使用したラジオ番組を制作・放送することで初等教育の効果を挙げようとしている。ただし、中学校向けラジオ・テレビ教育番組は、EMA が英語を使用して制作・放送している。

- 地方分権化に伴い、各州の教育メディア設備は各州単独の所有権を有する。
- 各州教育局は独自の教育番組開発目的のために独自のメディア設備を有する義務がある。
- 小学校向け教育番組は、できるかぎり地方言語を用いて番組を制作する。

EMA と州教育局それぞれが制作・放送する教育放送番組は次のとおりである。

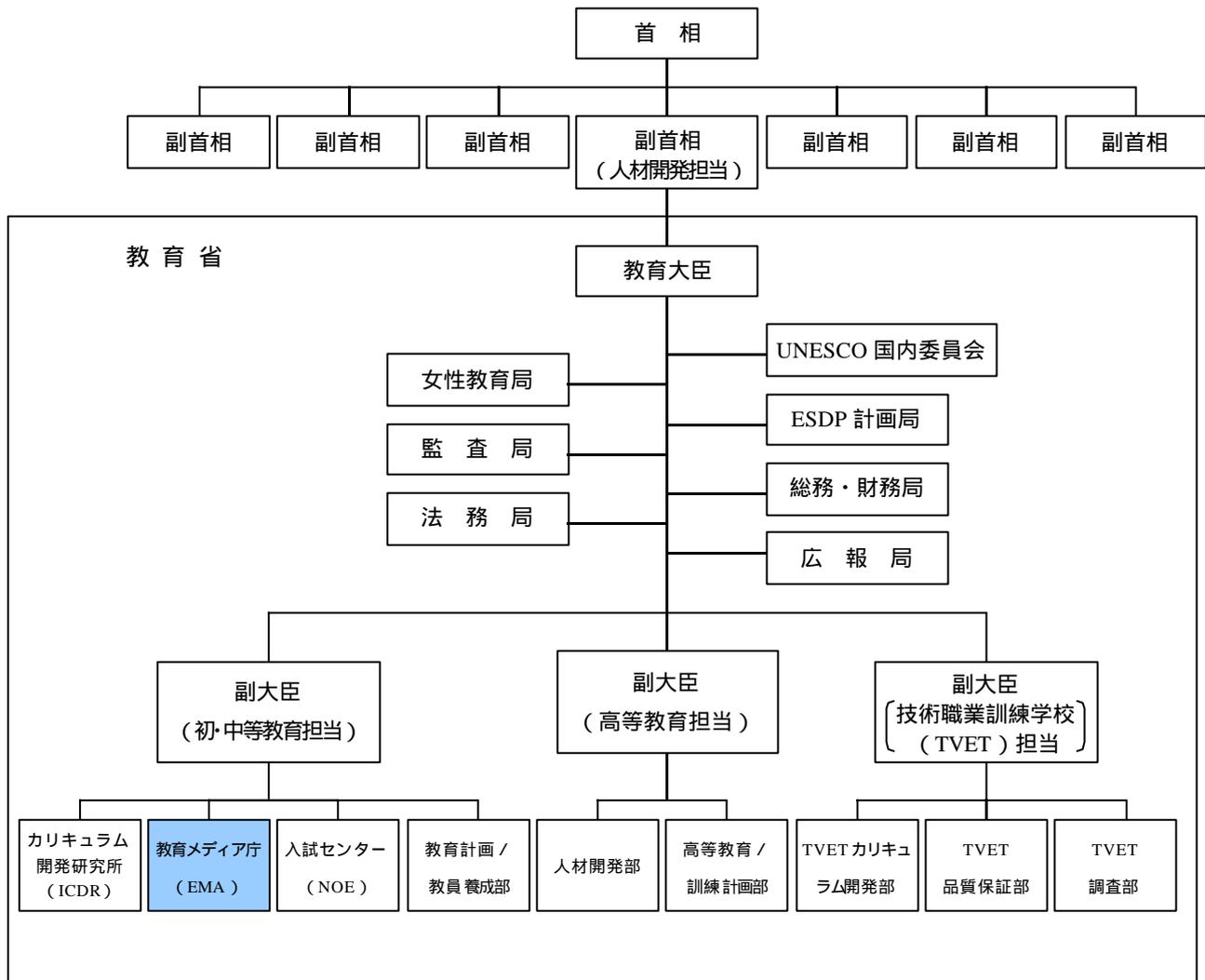
	ラジオ番組		テレビ番組
	初等教育	中等教育	中等教育
EMA			
州教育局		×	×

## 2-1-1 教育省

### (1) 組織

教育省の組織を図 2-1-2 に示す。

2002 年 5 月に連邦政府組織体制の見直しが実施され、首相の下に 7 名の副首相が新たに任命された。7 名の副首相はそれぞれ担当の省を管轄しており教育省は、人材開発担当副首相の傘下にある。



TVET : Technical and Vocational Educational Training  
 ICDR : Institute of Curriculum Development & Research  
 NOE : National Examination Organization

図 2-1-2 教育省 組織図

### (2) 財政・予算

エチオピア国の国家予算と教育セクター予算を表 2-1-1 示す。

表 2-1-1 国家予算と教育セクター予算

(単位：百万ブル)

年度	国家予算	教育セクター	割合
1995 / 1996	9,456.79	1,382.87	14.6%
1996 / 1997	10,369.96	1,463.43	14.1%
1997 / 1978	12,050.66	1,493.48	12.4%
1998 / 1999	16,840.23	2,062.64	12.2%
1999 / 2000	20,426.21	2,303.84	11.3%
2000 / 2001	18,067.41	2,485.11	13.8%
2001 / 2002	11,389.93	1,830.22	16.0%

(2001 / 2002 年度予算は資本予算を含まず)

国家予算に占める教育セクター予算の割合は毎年 10% を超えている。1995 / 96 年に 13.8 億ブル (約 207 億円) だった予算は、2000 / 01 年には 24.8 億ブル (約 372 億円) と大幅に増加している。教育セクターへ安定した予算が継続的に割当てられておりエチオピア政府の教育セクターに対する優先度の高さが確認できる。

#### 2-1-2 教育メディア庁 (EMA : Educational Media Agency)

本プロジェクトの実施責任機関は教育メディア庁 (EMA) である。

EMA は、1953 ~ 54 年に USAID の協力によりオーディオビジュアルセンターとして設立され現在に至っている。

1962 年に教育ラジオ放送が開始され、その後識字教育プログラムなどを実施するなど遠隔地教育を目的としたラジオ・テレビ放送を実施している。

##### (1) 組織

図 2-1-3 および図 2-1-4 に EMA の組織および人員体制を示す。

総職員数は 181 名である。

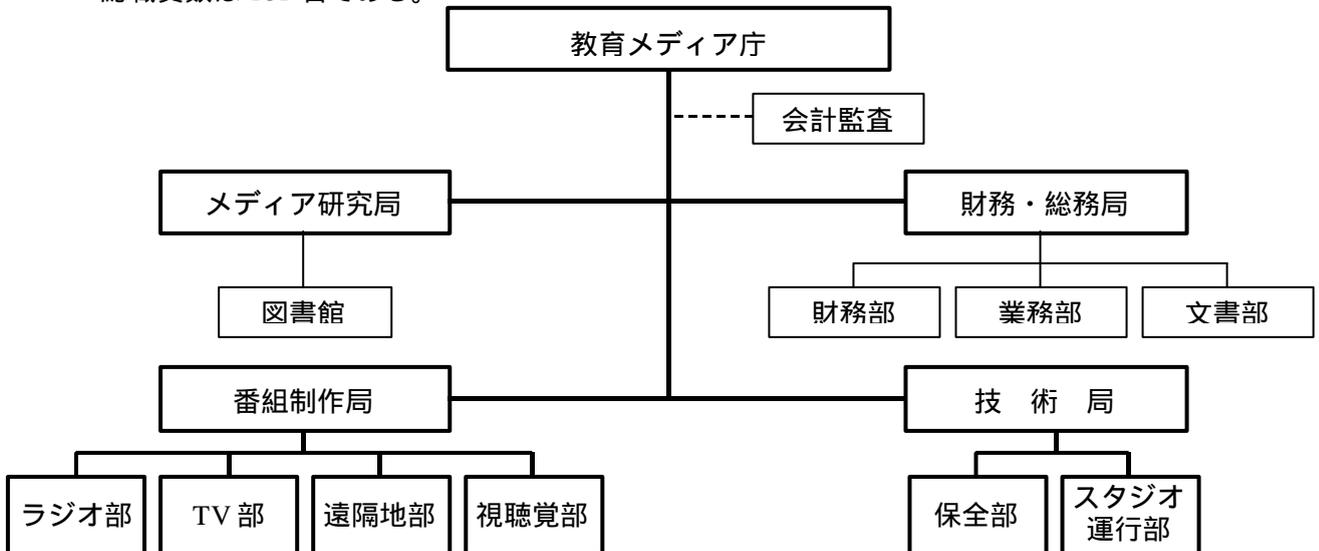


図 2-1-3 EMA の組織図

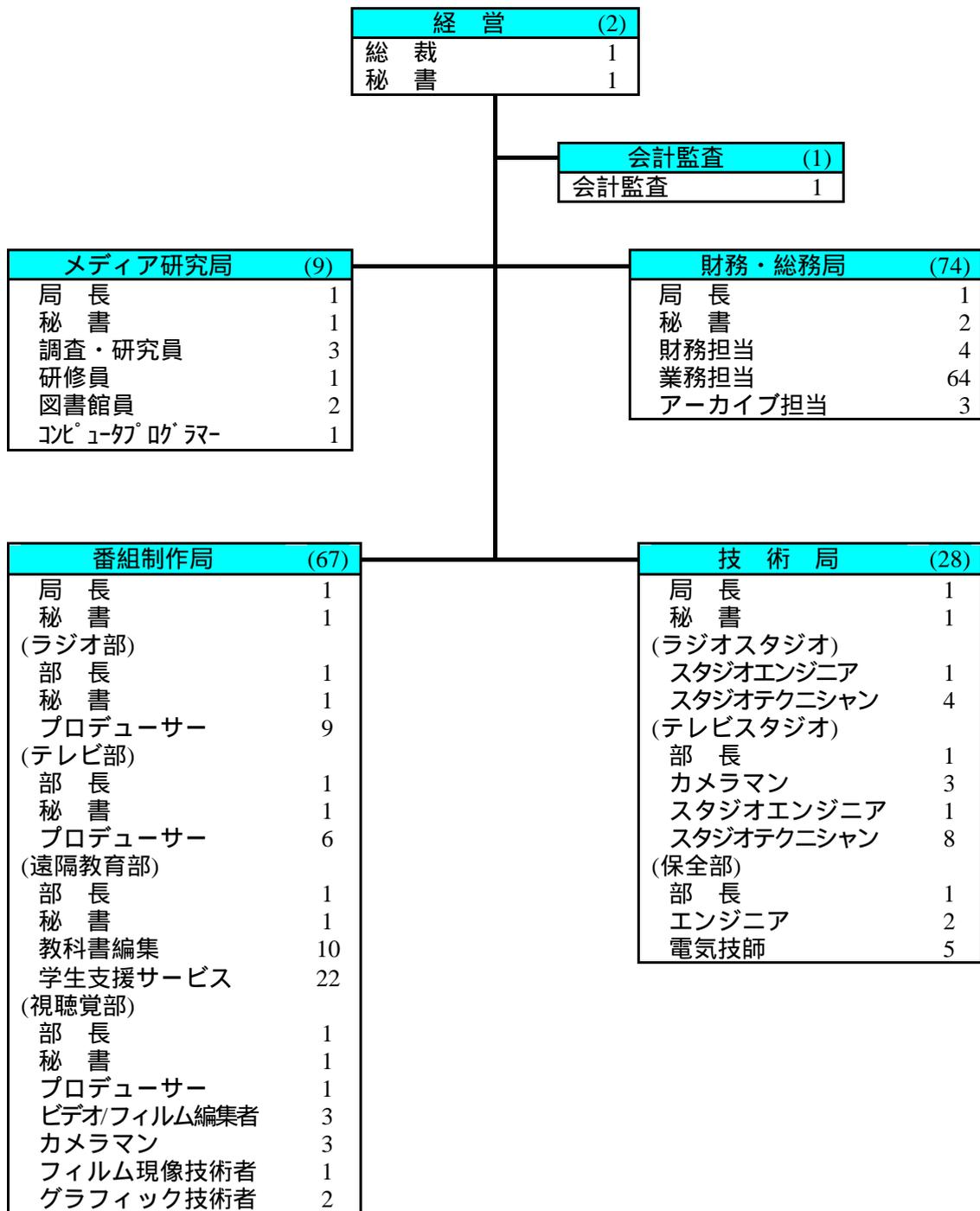


図 2-1-4 EMA の人員体制

(2) 財政・予算

経常予算と資本予算からなっている。経常予算は日常の活動のための予算で教育省より割当てられる。

また、資本予算は新規プロジェクトなどの開発のための予算で政府予算とドナー機関から割当てられる。

表 2-1-2 に EMA の最近 5 年間の経常予算を示す。

表 2-1-2 EMA の年間予算（経常予算）

単位（ブル）

	1998	1999	2000	2001	2002/03
給 与	1,411,500	1,567,000	1,591,220	2,074,800	2,150,000
活 動 費	1,338,600	1,275,100	1,600,445	2,766,500	2,967,000
運 営 ・ 維 持 費	581,400	737,900	825,880	976,500	1,000,000
合 計	3,331,500	3,580,000	4,017,545	5,817,800	6,117,000

### (3) EMA の業務

EMA は、エチオピアにおける遠隔教育実施の中心として次の業務を実施し遠隔地教育普及に努力している。

- 中等向け遠隔地教育番組（ラジオ／テレビ）の制作および放送の実施
- 遠隔地教育番組制作および放送に係る設備／機材の設計業務の実施
- 各州教育局の実施している遠隔地教育番組制作活動の支援（番組制作設備・機材の貸し出し）
- 各州の実施している遠隔地教育番組のモニターおよび評価の実施
- 遠隔地教育に係る人材育成のための研修・訓練の実施

本プロジェクト実施に当たっては、

- 州教育局ラジオ／テレビスタジオ建物に対する技術支援
- 州教育局ラジオ／テレビ番組プロデューサーへの研修実施
- 州教育局ラジオ／テレビ番組制作技術者への研修実施
- 全国 12 ヲ所の中継送信所の保守

等、州教育局が遠隔地教育活動をスムーズに実施できるための体制整備を全面的にサポートしている。また、第 1 次計画で整備された機材を使用しラジオ教育番組（中学校 G9 - 12 向け）、テレビ教育番組（中学校 G9 - G10 向け）を制作し放送している。ラジオ番組は全国 12 ヲ所の中波送信所から、テレビ番組は、エチオピア国营テレビ局（ETV）の全国テレビネットワークおよびエチオピアテレコム（ETC）の TVRO 設備を借用し、放送している。

2002 / 03 年度のテレビ番組放送スケジュールを表 2-1-3 に示す。

(4) 技術水準

前述のとおり EMA 技術局スタッフは局長ほか 28 名（ラジオスタジオ関係：5 名、テレビスタジオ関係：13 名、保守関係：8 名）である。

技術スタッフの教育背景は、次のとおり高水準である。

- ラジオスタジオ関係者
  - 工学士                   ： 1 名
  - 技術学校卒業者       ： 4 名
  
- テレビスタジオ関係者
  - 工学修士               ： 1 名
  - 工学士                  ： 3 名
  - 技術学校卒業者       ： 9 名
  
- 保守関係者
  - 工学士                  ： 2 名
  - 技術学校卒業者       ： 6 名

また 28 名中 20 名が、ドイツ、イギリス、ロシア等において 2～3 年間の研修を受講している。

1965 年の活動開始以来 35 年に及ぶアナログ技術のノウハウの蓄積および第 1 次計画で得たデジタル技術による技術力も高く技術局スタッフが老朽化した機器を適切なメンテナンスで使いこなしており、運営・保守に問題はない。

表 2-1-3 テレビ教育番組週間放送スケジュール  
 (グレード 9 およびグレード 10)  
 (2002 / 2003)

学校授業時間	テレビ放送時間	月	火	水	木	金
10:55 - 11:35	10:55					
	11:00 - 11:15	数学 G9	物理 G10(再)	化学 G9(再)	生物 G10(再)	数学 G9(再)
	11:20 - 11:35	物理 G9	化学 G10(再)	生物 G9(再)	数学 G10(再)	物理 G9(再)
11:35 - 12:30	11:40 - 11:55	化学 G9	生物 G10(再)	数学 G9(再)	物理 G10(再)	化学 G9(再)
	12:00 - 12:15	生物 G9	数学 G10(再)	物理 G9(再)	化学 G10(再)	生物 G9(再)
12:15 - 12:30	休 憩					
12:30 - 13:10	12:35 - 12:50	数学 G10	物理 G9(再)	化学 G10(再)	生物 G9(再)	数学 G10(再)
	12:55 - 13:10	物理 G10	化学 G9(再)	生物 G10(再)	数学 G9(再)	物理 G10(再)
13:10 - 13:50	13:15 - 13:30	化学 G10	生物 G9(再)	数学 G10(再)	物理 G9(再)	化学 G10(再)
	13:35 - 13:50	生物 G10	数学 G9(再)	物理 G10(再)	化学 G9(再)	生物 G10(再)

G-9 英語：休憩時間中に放送(12:15~12:30)

\* (再): 再放送

年間放送スケジュール

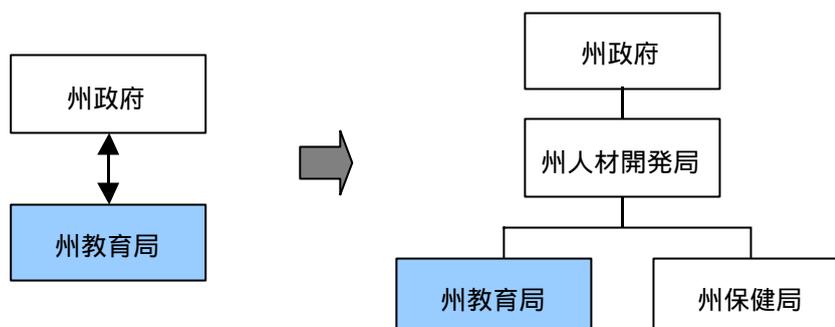


前期放送：2002.10.28 ~ 2003.01.04

後期放送：2003.02.17 ~ 2003.04.26

### 2-1-3 州教育局（REB: Regional Education Bureau）

教育行政の地方分権化に伴い、各州における遠隔地教育も各州教育局の責任で実施することとなった。各州教育局は、初等教育における教科書や教材の不足を補うために地方言語によるラジオ教育番組の制作・放送が義務付けられている。2002年5月に実施された連邦政府の組織変更にならって州政府の組織体制も変更され、州教育局は州人材開発局の傘下となった。



各州教育局の現状を次に示す。

#### (1) アジスアベバ教育局

##### 1) 組織・人員

アジスアベバ教育局の組織（図 2-1-5 参照）は、基本設計調査時からの変更はなく、教育支援部の教育マスメディアチームが遠隔地教育を担当している。総職員数は 185 名である。

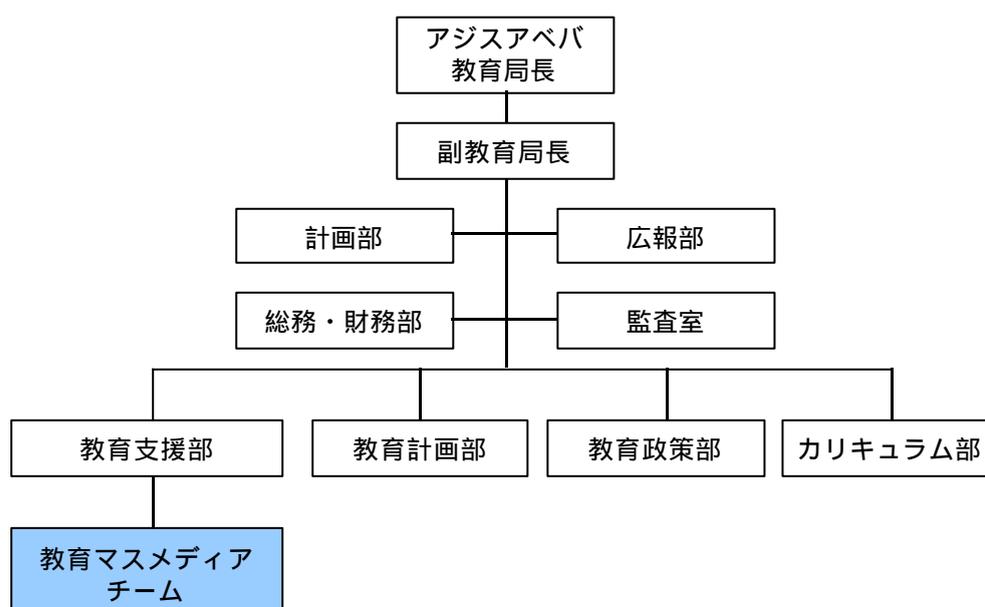


図 2-1-5 アジスアベバ教育局 組織図

教育マスメディア部 36 名の内訳は、次のとおりである。

- 部長 : 1 名
- 遠隔地教育コーディネーター : 4 名
- 調査・研究員 : 1 名
- ラジオ番組プロデューサー : 20 名
- 編集者 : 3 名
- ラジオ番組制作技術者 : 6 名
- テープ管理者 : 1 名

## 2) 財政・予算

アジスアベバ教育局の予算は、アジスアベバ特別区政府から割当てられている。

表 2-1-4 にアジスアベバ教育局の予算（1998/99～2002/03 年）を示す。

表 2-1-4 アジスアベバ教育局 年間予算

(単位：ブル)

	1998/99	1999/00	2000/01	2001/02	2002/03
年間総予算	75,140,000	90,010,000	97,320,000	107,910,000	109,016,600
I. 教育番組制作 関連予算	685,000	819,600	997,400	1,128,300	1,260,600
給与	(354,800)	(378,200)	(408,200)	(429,600)	(438,700)
管理・制作費	(318,200)	(426,400)	(574,200)	(628,700)	(751,900)
運用・保守費	(12,000)	(15,000)	(15,000)	(70,000)	(70,000)
II. その他	74,455,000	89,190,400	96,322,600	106,781,700	107,756,000

## 3) 教育番組制作実績

過去 5 年間のラジオ教育番組制作実績は、次のとおりである。

EMA のスタジオ敷地内に事務所があるために EMA のスタジオの空き時間にスタジオを借用しやすく他州教育局に比べ番組制作本数が多い。

使用言語はアムハラ語である。

1997 年 (168 本を制作)	1998 年 (168 本を制作)	1999 年 (140 本を制作)
アムハラ語 (G-1) : 28 本	アムハラ語 (G-2) : 28 本	アムハラ語 (G-3) : 28 本
アムハラ語 (G-5) : 28 本	アムハラ語 (G-6) : 28 本	アムハラ語 (G-7) : 28 本
社会 (G-1) : 28 本	社会 (G-2) : 28 本	英語 (G-3) : 28 本
社会 (G-5) : 28 本	社会 (G-6) : 28 本	英語 (G-4) : 28 本
理科 (G-1) : 28 本	理科 (G-2) : 28 本	理科 (G-3) : 28 本
理科 (G-5) : 28 本	理科 (G-6) : 28 本	

2000年 (168本を制作)	2001年 (112本を制作)
アムハラ語(G-4) : 28本	社会(G-3) : 28本
アムハラ語(G-7) : 28本	理科(G-4) : 28本
アムハラ語(G-8) : 28本	理科(G-7) : 28本
社会(G-4) : 28本	理科(G-8) : 28本
社会(G-7) : 28本	
社会(G-8) : 28本	

(2) アファール州教育局

1) 組織・人員

アファール州教育局の組織(図 2-1-6 参照)は、基本設計調査時からの変更はなく遠隔地教育は、教育支援部の教育メディアチームが担当している。

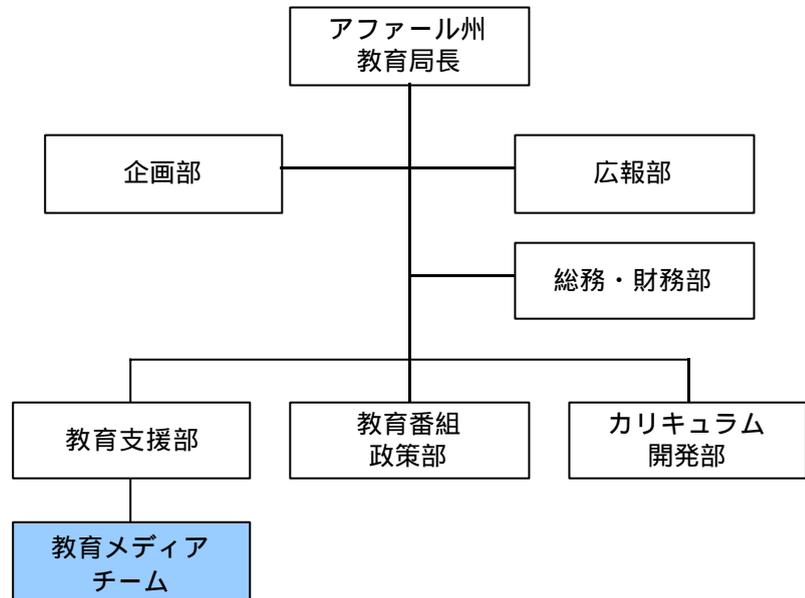


図 2-1-6 アファール州教育局 組織図

部門別の職員数を表 2-1-5 に示す。

表 2-1-5 アファール州教育局の職員数

部 名	職員数
局長室	7
企画部	6
広報部	4
総務財務部	28
教育支援部	30

部 名	職員数
教育番組政策部	19
カリキュラム開発・調査研究部	12
合 計	106

教育支援部の職員が基本設計調査時から 2 名増加して 30 名となった。その内訳は次のとおりである。

- 部長 : 1 名
- 遠隔教育コーディネーター : 1 名
- ラジオ番組プロデューサー : 15 名
- ラジオ番組制作技術者 : 2 名
- 送信スタジオ技術者 : 3 名
- 資料室職員 : 2 名
- 建築関連職員 : 3 名
- 教材配付職員 : 3 名

(基本設計調査後、ラジオ番組制作技術者 2 名が新規採用された)

## 2) 財務・予算

アファール州教育局の予算は、アファール州政府から割当てられている。

アファール州教育の予算 (1998 / 99 ~ 2002 / 03) を表 2-1-6 に示す。

表 2-1-6 アファール州教育局の年間予算

単位 (ブル)

	1998/99	1999/00	2000/01	2001/02	2002/03
年間予算	9,570,000	11,820,000	13,550,000	14,250,000	14,570,000
I. 番組制作関連予算	425,000	502,000	470,000	541,000	570,000
給料	(365,000)	(382,000)	(400,000)	(461,000)	(490,000)
管理・制作費	(50,000)	(110,000)	(60,000)	(70,000)	(70,000)
運用・保守費	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)
II. その他	9,145,000	11,318,000	13,080,000	13,709,000	14,000,000

## 3) 教育番組制作実績

過去 5 年間の番組制作実績は、1999 年に EMA に出張して制作した以外、EMA スタジオの使用許可が得られなかったことおよび出演者の確保ができなかったことにより番組制作は行っていない。

1999 年

アフール語 (G-4): 28 本

アフール語 (G-5): 28 本

アフール語 (G-6): 28 本

(3) オロミア州教育局

1) 組織・人員

オロミア州教育局の組織 (図 2-1-7 参照) は、基本設計調査時からの変更はなく遠隔地教育は、遠隔教育部の教育メディアチームが担当している。総職員数は180名である。

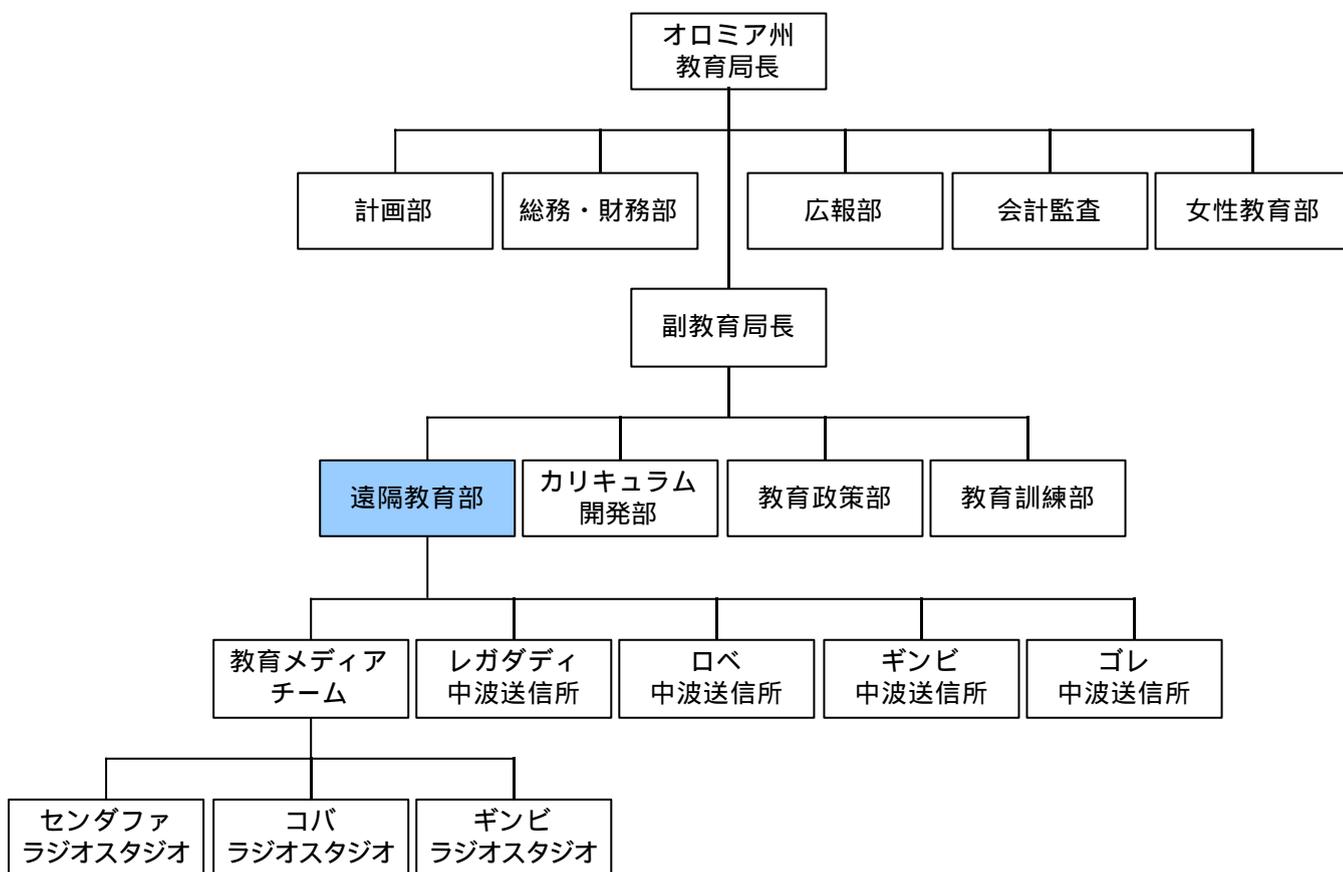


図 2-1-7 オロミア州教育局 組織図

オロミア州には、すでにラジオスタジオ 3 カ所、中波送信所 5 カ所が整備されており遠隔地教育部職員 65 名の中にこれらの要員も含まれる (アレマヤ中波送信所要員は除く)。内訳は次のとおりである。

- 部長 : 1名
- 遠隔教育コーディネーター : 6名
- ラジオ番組プロデューサー : 12名
- ラジオ番組制作技術者 : 12名
- ラジオ送信技術者 : 16名
- 図書室職員 : 6名
- 建築関連職員 : 5名
- その他 : 8名

今回のスタジオ予定地はオロミア州東ハラルゲゾーン ハラール地区であり、オロミア州教育局の支部である東ハラルゲゾーン教育部教育支援課（図 2-1-8 参照）が同地域の小中学校生徒を対象とした遠隔地教育を実施する。

またオロミア州アレマヤ送信所は、東ハラルゲゾーン教育部の管理となっており送信技術者 3 名で運営している。

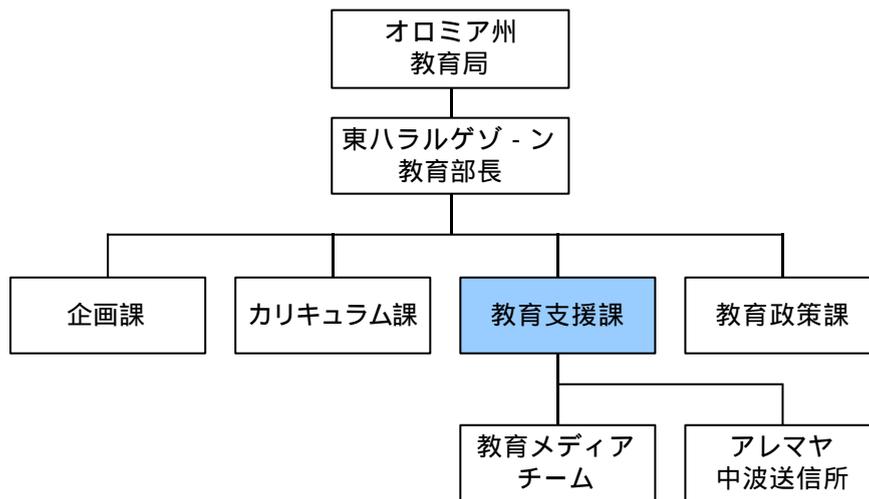


図 2-1-8 東ハラルゲゾーン州教育局 組織図

教育支援課には、ラジオ番組プロデューサー 6 名（教師を含む）が所属している。ラジオ番組制作技術者は確保されていないが、当面は同州にあるセンダファラジオスタジオから技術者 3 名が出向する予定である。

## 2) 財務・予算

オロミア州教育局および東ハラルゲゾーン教育部の予算は、オロミア州政府から割当てられている。

オロミア州教育局の予算（1998 / 99 ~ 2002 / 03）を表 2-1-7 に示す。

表 2-1-7 オロミア州教育局 年間予算

(単位：ブル)

	1998/99	1999/00	2000/01	2001/02	2002/03
年間予算	326,300,000	355,960,000	393,070,000	414,230,000	402,607,400
I. 番組制作 関連予算	2,230,000	2,420,000	2,520,200	2,525,400	2,607,400
給料	(1,080,000)	(1,070,000)	(1,112,800)	(1,118,000)	(1,200,000)
管理・制作費	(1,000,000)	(1,200,000)	(1,257,400)	(1,257,400)	(1,257,400)
運用・保守費	(150,050)	(150,000)	(150,000)	(150,000)	(150,000)
II. その他	324,070,000	353,540,000	390,549,800	411,704,600	400,000,000

3) 教育番組制作実績

オロミア州教育局は、州内にある3カ所の既設スタジオ（ギンビ、センダファ、ゴバ）を使用し、毎年784本の番組を制作している。科目は、オロモ語、英語、社会、理科、地理、物理の6科目であり、使用言語は英語、カンパティ語、ハディニア語、デブレ語、オロモ語である。東ハラルゲゾーン教育部における教育番組制作実績はない。

(4) ディレダワ州教育局

1) 組織・人員

ディレダワ州教育局（図 2-1-9 参照）の総職員数は、基本設計調査時からの変更はなく74名である。遠隔地教育は、教育支援部の教育メディアチームが担当している。

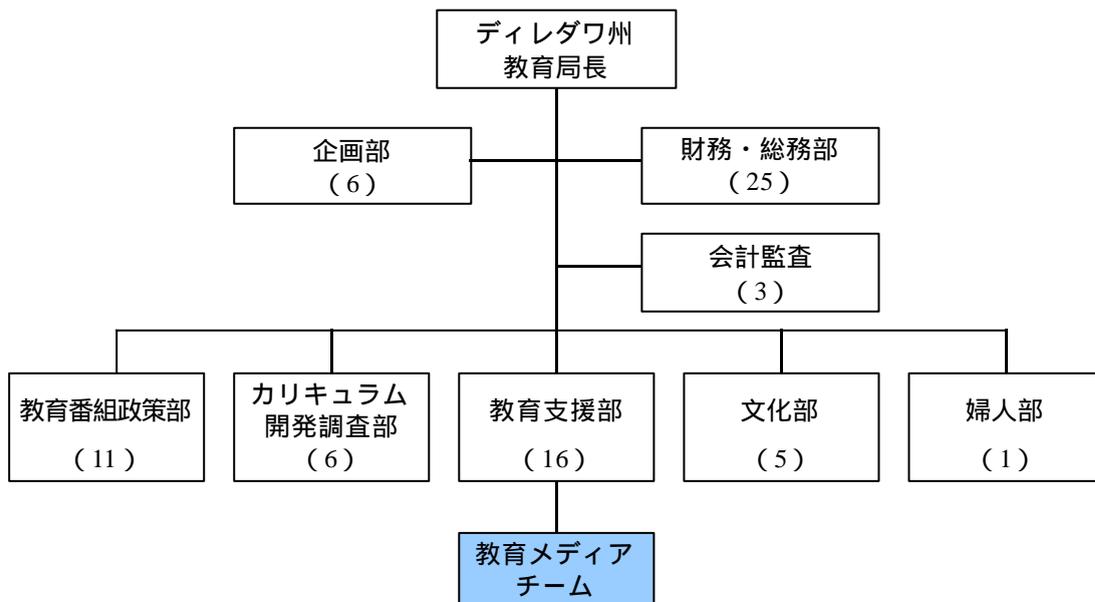


図 2-1-9 ディレダワ州教育局 組織図

教育支援部 16 名の内訳は次のとおりである。

- 部長 : 1 名
- ラジオ番組プロデューサー : 5 名
- ラジオ番組制作技術者 : 3 名
- 脚本家 : 2 名
- 編集者 : 2 名
- 遠隔教育コーディネーター : 2 名
- 図書館員 : 1 名

## 2) 財政・予算

ディレダワ州教育局の予算は、ディレダワ州政府から割当てられている。

ディレダワ州教育局の予算（1998 / 99 ~ 2002 / 03）を表 2-1-8 に示す。

表 2-1-8 ディレダワ州教育局 年間予算

（単位：ブル）

	1998/99	1999/00	2000/01	2001/02	2002/03
年間総予算	6,500,000	7,480,000	8,550,000	8,650,000	20,592,000
I. 教育番組制作 関連予算	435,800	454,900	531,700	578,400	592,000
給与	(305,800)	(314,900)	(330,700)	(343,900)	(350,000)
管理・制作費	(98,000)	(98,000)	(159,000)	(192,500)	(200,000)
運用・保守費	(32,000)	(42,000)	(42,000)	(42,000)	(42,000)
II. その他	6,064,200	7,025,100	8,018,300	8,071,600	20,000,000

（2002 / 03 年度予算の中にディレダワラジオスタジオ建設費が予算化されている）

## 3) 教育番組制作実績

過去 5 年間では、2000 年に EMA に出張し、168 本の教育番組をオロモ語により制作した実績がある。

2000 年（168 本）

- 化学（G-3） : 28 本（オロモ語）
- 化学（G-4） : 28 本（オロモ語）
- 化学（G-5） : 28 本（オロモ語）
- 化学（G-6） : 28 本（オロモ語）
- 社会（G-5） : 28 本（オロモ語）
- 社会（G-6） : 28 本（オロモ語）

(5) SNNP 州教育局

1) 組織・人員

SNNP 州教育局の組織（図 2-1-10 参照）は、基本設計調査時から変更なく、総職員数は 160 名である。遠隔地教育は教育支援部が担当しており、ソドラジオスタジオおよびソド中波送信所の運営・管理も行っている。

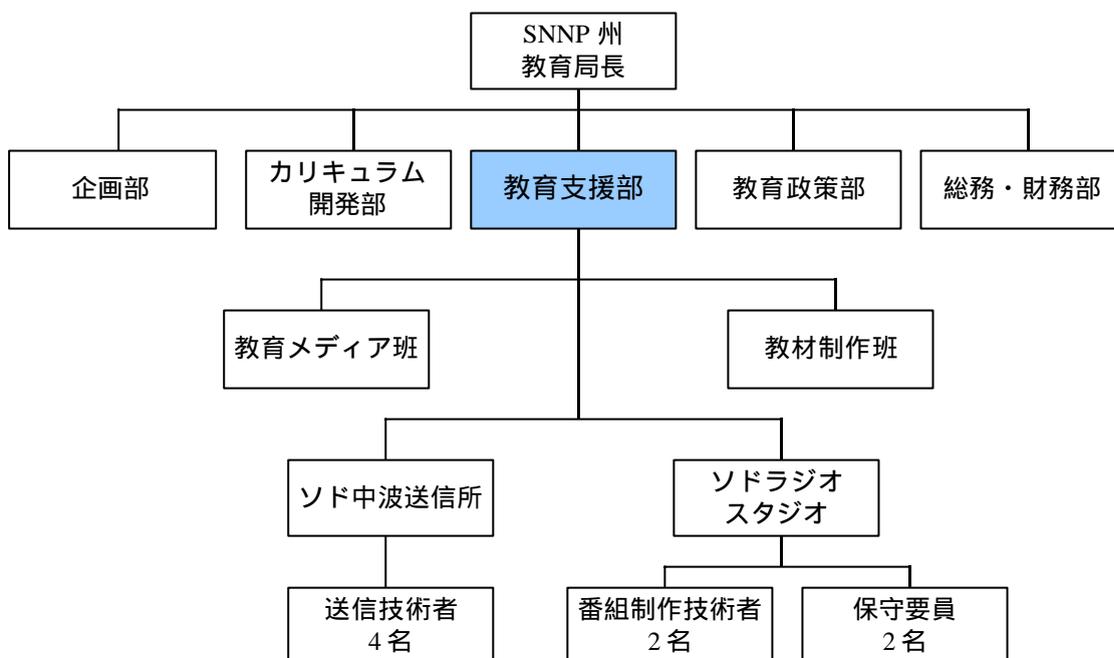


図 2-1-10 SNNP 州教育局 組織図

今回のスタジオ予定地は、SNNP 州西部ベンチマジゾーンのミザンテフェリ地区である。SNNP 州教育局の支部であるベンチマジゾーン教育部（図 2-1-11 参照）が同地域の小中学校生徒を対象とした遠隔地教育を実施することとなる。

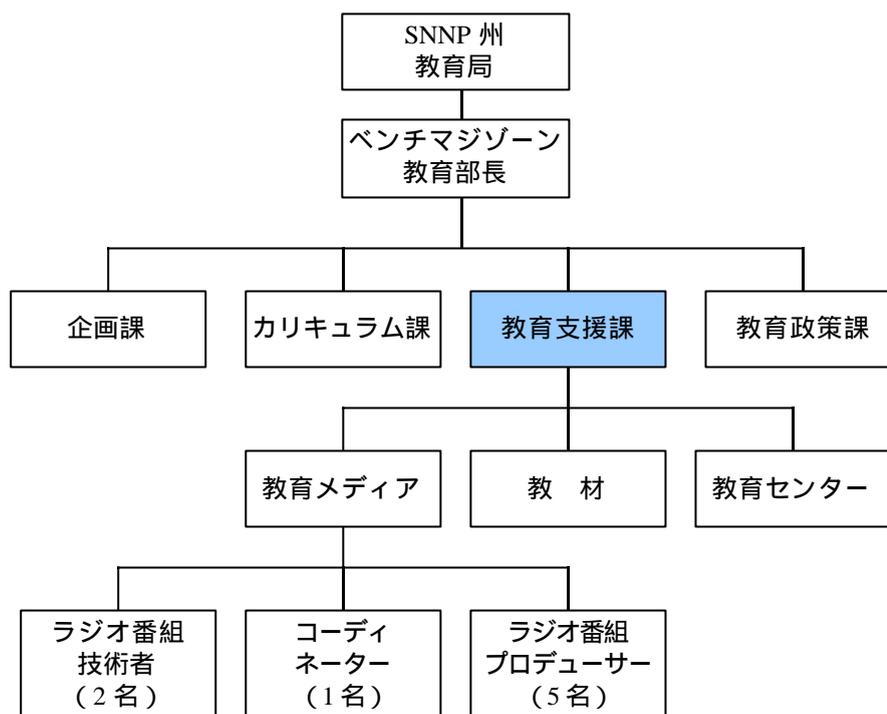


図 2-1-11 ベンチマジゾーン教育部 組織図

スタジオ整備後は、教育支援課が遠隔地教育を担当する予定であり、すでに遠隔教育コーディネーター1名、ラジオ番組プロデューサー5名が配属されている。基本設計調査時にはラジオ番組制作技術者は確保されていなかったが、新たに2名のラジオ番組制作技術者が採用された。

## 2) 財務・予算

SNNP 州教育局およびベンチマジゾーン教育部の予算は、SNNP 州政府から割当てられている。表 2-1-9 に SNNP 州教育局およびベンチマジゾーン教育部の予算（1998 / 99 ~ 2002 / 03）を示す。

表 2-1-9 SNNP 州教育局およびベンチマジゾーン教育部 年間予算

(単位：ブル)

	1998/99	1999/00	2000/01	2001/02	2002/03
SNNP 州教育局予算	174,970,000	178,030,000	205,220,000	211,670,000	220,000,000
ベンチマジゾーン教育部予算	7,344,000	7,623,000	7,780,000	7,982,000	8,000,000

3) 教育番組制作実績

ベンチマジゾーン教育部の番組制作実績はないが、1998年にソド地区にスタジオが建設されてから、SNNP州教育局は番組制作が可能となり9言語を使用して年間300本から500本の教育番組を制作している。

1998年 (504本を制作)	1999年 (308本を制作)	2000年 (308本を制作)
生活科(G-2) : 224本 (28本×8言語)	生活科(G-3) : 224本 (28本×8言語)	生活科(G-4) : 224本 (28本×8言語)
生活科(G-1) : 224本 (28本×8言語)	Siltigna語(G-3) : 28本	Siltigna語(G-4) : 28本
Siltigna語(G-2) : 28本	社会(G-7) : 28本 (英語)	社会(G-8) : 28本 (英語)
Siltigna語(G-1) : 28本	生物(G-7) : 28本 (英語)	生物(G-8) : 28本 (英語)

(6) ハラリ州教育局

1) 組織・人員

ハラリ州教育局の組織(図2-1-12参照)は、基本設計調査時と変更はなく総職員数は71名である。遠隔地教育は教育支援部の教育メディアチームが担当している。

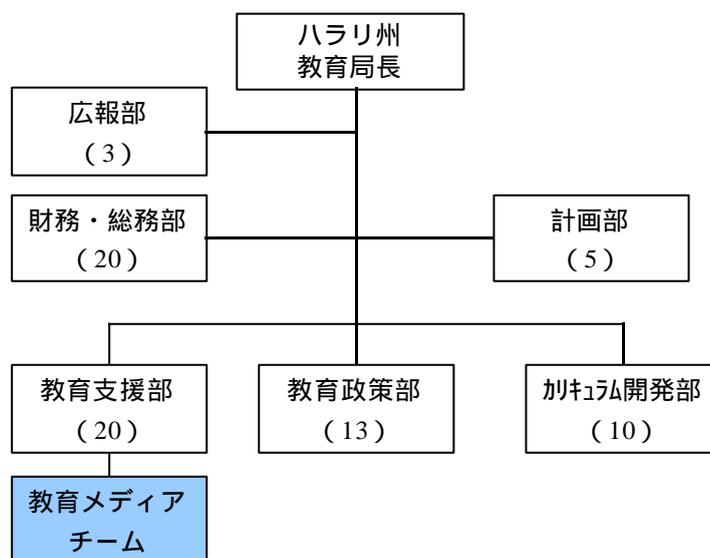


図 2-1-12 ハラリ州教育局 組織図

教育支援部 20 名の内訳は次のとおりである。

- 部長 : 1名
- 遠隔教育コーディネーター : 3名
- ラジオ番組プロデューサー : 6名
- 編集者 : 5名

- ラジオ番組制作技術者 : 3名
- 図書室職員 : 2名

2) 財政・予算

ハラリー州教育局の予算は、ハラリー州政府から割当てられている。

表 2-1-10 にハラリー州教育局の予算 (1998 / 99 ~ 2002 / 03) を示す。

表 2-1-10 ハラリー州教育局 年間予算

(単位: プル)

	1998/99	1999/00	2000/01	2001/02	2002/03
年間予算	8,770,000	11,920,000	12,650,000	13,710,000	13,933,000
I. 教育番組 制作関連予算	331,000	299,000	365,000	398,000	403,000
給与	(173,000)	(176,000)	(174,000)	(180,000)	185,000
管理・制作費	(103,000)	(55,000)	(123,000)	(150,000)	150,000
運用・保守費	(55,000)	(68,000)	(68,000)	(68,000)	68,000
II. その他	8,439,000	11,621,000	12,285,000	13,312,000	13,530,000

3) 教育番組制作実績

過去5年間において1998年および2000年にEMAに出張し、ハラリー語により教育番組を制作した実績がある。

1998年 (140本を制作)		2000年 (168本を制作)	
ハラリー語 (G-1)	: 28本	ハラリー語 (G-2)	: 28本
ハラリー語 (G-5)	: 28本	ハラリー語 (G-6)	: 28本
生活科 (G-1)	: 28本	ハラリー語 (G-8)	: 28本
	(ハラリー語)	生活科 (G-2)	: 28本
化学 (G-5)	: 28本		(ハラリー語)
	(ハラリー語)	社会 (G-6)	: 28本
社会 (G-5)	: 28本		(ハラリー語)
	(ハラリー語)	社会 (G-8)	: 28本
			(ハラリー語)

(7) ティグレイ州教育局

1) 組織・人員

ティグレイ州教育局の組織（図 2-1-13 参照）については、基本設計調査時から組織変更があり、建築部が廃止され企画部が新たに新設された。総職員数は 170 名である。遠隔地教育は、教育メディア部が担当している。

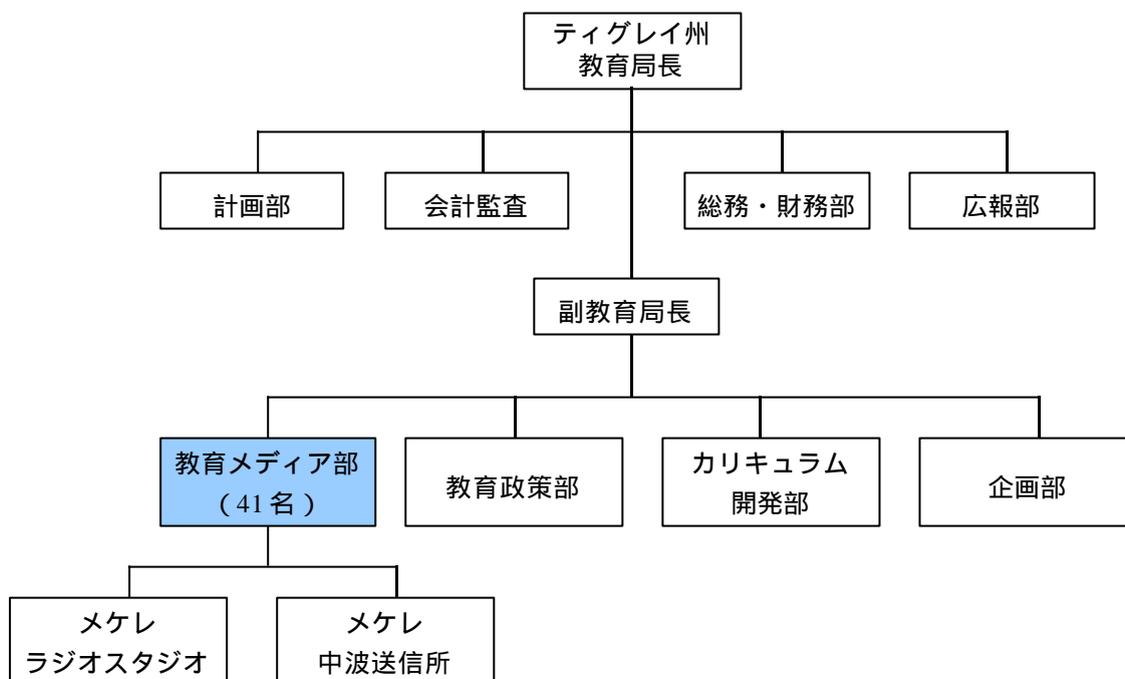


図 2-1-13 ティグレイ州教育局 組織図

教育メディア部 41 名の内訳は、次のとおりである。

- 部長 : 1 名
- ラジオ番組コーディネーター : 3 名
- 遠隔教育ラジオ番組プロデューサー : 14 名
- ラジオ番組制作技術者 : 6 名
- ラジオ送信所技術者 : 6 名
- 研修員 : 2 名
- 調査・研究員 : 3 名
- 図書室職員 : 4 名

すでにラジオスタジオと中波送信所が整備されておりラジオ教育番組制作・放送に関する要員は十分に確保されている。本プロジェクトの対象となるテレビ教育番組関連要員は、ラジオ番組プロデューサーが TV 番組プロデューサーを兼務する。また TV 番組

制作技術者は、外部委託の予定である。

2) 財政・予算

ティグレイ州教育局の予算は、ティグレイ州政府から割当てられている。ティグレイ州教育局の予算（1998/99～2002/03）を表 2-1-11 に示す。なお、教育番組制作関連予算は、すべてラジオ教育番組制作・放送関連の費用である。

表 2-1-11 ティグレイ州教育局 年間予算

(単位：ブル)

	1998/99	1999/00	2000/01	2001/02	2002/03
年間総予算	54,990,000	60,840,000	69,690,000	72,730,000	75,875,000
I. 教育番組制作 関連予算(ラジオ)	856,000	774,000	729,500	764,000	875,000
給与	(368,000)	(388,000)	(389,500)	(424,000)	(435,000)
管理・制作費	(388,000)	(286,000)	(300,000)	(300,000)	(400,000)
運用・保守費	(100,000)	(100,000)	(40,000)	(40,000)	(40,000)
II. その他	54,134,000	60,066,000	68,960,500	71,966,000	75,000,000

3) 教育番組制作実績

過去にテレビ教育番組を制作した実績はないが、ラジオ教育番組は、既存ラジオスタジオを使用し毎年 168 本の番組を制作している。科目は、ティグレイ語、化学、生活、理科、社会等で言語はティグレイ語を使用している。

## 2-2 プロジェクトサイトおよび周辺の状況

### 2-2-1 関連インフラの整備状況

基本設計調査の結果、第1次計画として平成13年度の無償資金協力により

- EMA ラジオスタジオ
- EMA テレビスタジオ
- ガンベラ州教育局ガンベララジオスタジオ

の3サイトにおけるプロジェクトが、2003年3月に完成した。

第1次計画実施後のエチオピア国における遠隔地教育放送システムの整備状況を図2-2-1に示す。

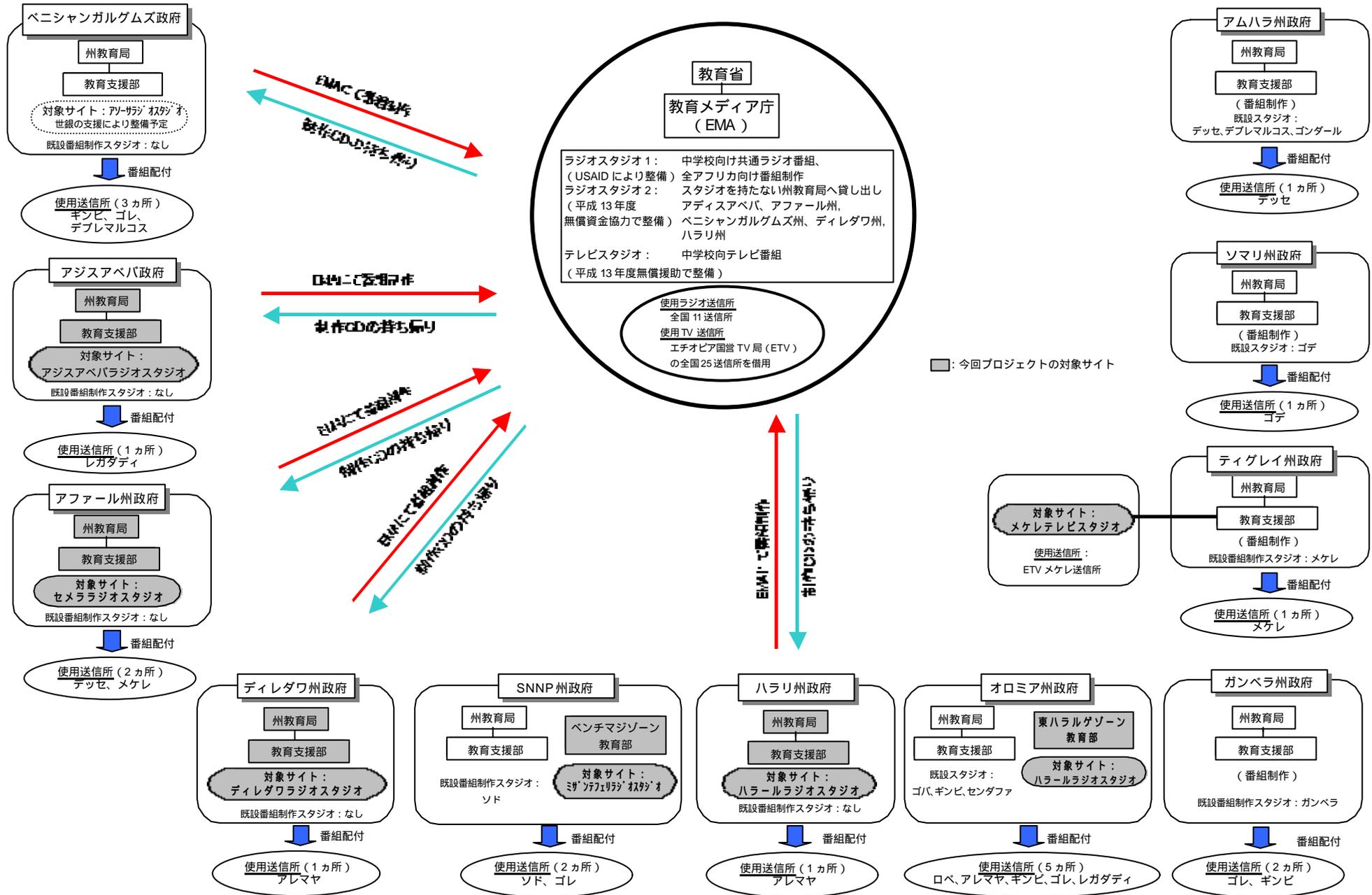


図 2-2-1 遠隔地教育システム

(平成 13 年度無償資金協力で整備)

## 2-2-2 自然条件

### (1) 海拔高・気温・降水量

アフール州（北東部低地）	海拔 400m の砂漠地帯であり、年間降雨量 400mm～800mm の乾燥気候である。年間平均気温は 30 であり、最高気温は 50 を超える世界的に熱い地域である。
ガンベラ州（西部中高地） ディレダワ州（東部中高地） SNNP 州（南部中高地）	海拔 1,000～1,750m までの中高地であり、年間最低気温が 20 以上となる。年間降雨量は 1,500mm～2,500mm と最も降雨量の多い多湿地域である。
アジスアベバ（首都） ハラリ州（東部高原地帯） ティグレイ州（北部高原地帯）	海拔 1,750m 以上の高地で、年間最低気温が 18 以下で年間降雨量は約 1,000mm 前後の温暖湿潤気候となっている。

参考として高原地帯（アジスアベバ）、中高地（ディレダワ）、低地（アフール州セメラ）の年間気温と降雨量を示す。

#### ● 高原地帯（アジスアベバ）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
平均最高気温（℃）	24.2	26.5	25.2	27.9	26.2	24.7	19.9	21.5	22.5	21.9	22.9	23.4	23.9
平均最低気温（℃）	8.3	9.6	11.4	11.6	7.9	11.2	10.5	10.9	10.9	9.4	7.2	7.2	9.7
降雨量（mm）	2.9	0.3	28.8	16.3	23.8	119.6	268.6	305.3	88.4	55.4	0	0	75.8

#### ● 中高地帯（ディレダワ）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
平均最高気温（℃）	29.7	32.0	29.9	34.3	35.4	34.6	33.3	32.5	32.3	30.9	30.5	28.9	32.0
平均最低気温（℃）	14.5	15.9	18.1	20.9	22.9	22.3	20.4	20.2	21.0	18.5	15.1	13.8	18.6
降雨量（mm）	0	1.3	164.3	28.3	21.8	17.5	97.1	174.6	40.1	71.4	3.6	1.7	51.8

#### ● 低地（アフール州セメラ）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
平均最高気温（℃）	44.0	44.0	44.0	46.0	47.0	46.0	44.0	42.0	42.0	43.0	43.0	44.0	44.0
平均最低気温（℃）	34.0	34.0	35.0	35.0	36.0	33.0	33.0	33.0	34.0	34.0	34.0	34.0	34.0
降雨量（mm）	0	0	0	0.5	4.0	6.0	40.0	30.0	12.0	6.0	0.5	0	8.2

## (2) 地震

エチオピア国は地震の少ない地形となっており過去 100 年間にマグニチュード 5 以上の地震は記録されていない。

### 2-2-3 その他

#### (1) EMA ラジオ / テレビスタジオの現状

EMA 施設の中にラジオスタジオ 2 室、テレビスタジオ 1 室を有しており中等教育番組を中心に年間 572 本のラジオ番組（使用言語：英語）、120 本のテレビ番組（使用言語：英語）の制作・放送が義務付けられている。各スタジオは、次のとおりデジタル化された機材により整備されている。

- 第 1 ラジオスタジオ： 2000 年に USAID の援助でデジタル化されたラジオ番組制作機材が整備された。
- 第 2 ラジオスタジオ： 2003 年 3 月、本プロジェクトの第 1 次計画としてデジタル化されたラジオ番組制作機材が整備された。
- テレビスタジオ： 第 2 ラジオスタジオ同様、2003 年 3 月に第 1 次計画としてデジタル化されたテレビ番組制作機材が整備された。

#### (2) スタジオ設備のない州教育局

スタジオ設備が整備されていないアジスアベバ、アファール州、ディレダワ州、ハラリ州教育局（ガンベラ州教育局もスタジオ設備を持たない州教育局の 1 つであったが、2003 年 3 月第 1 次計画によりラジオスタジオが整備された）は、EMA に出張しラジオ番組を制作しているが次の問題により、番組制作活動が困難な状況である。

##### 1) EMA スタジオの稼動状況

EMA では上記のとおり 2 つのラジオスタジオ設備を使用して、中学校向け番組を中心に次のとおり番組制作活動を行っている。

第 1 ラジオスタジオ： 年間 156 本の中学校中途退学者向け番組（20 分）制作  
年間 130 本の小学校向け IRI (Interactive Radio Instruction)  
英語番組（15 分）の制作

第 2 ラジオスタジオ： 年間 180 本の中学校向け教育番組（15 分）制作  
年間 91 本の遠隔地教育番組（15 分）制作  
年間 75 本の教師向け番組（15 分）制作

2つのスタジオともに年間10ヵ月はEMAの番組制作活動でほとんど毎日使用されており、他州が利用できるのは最大2ヵ月間に限られている。一回の出張で必要となる番組制作期間は、最低で1ヵ月である。したがって、1年間に番組制作を行えるのは最大2州に限られてしまう。スタジオを持たない州がEMAのスタジオを借用できるのは、3年に1回の割合である。

## 2) 番組制作上の問題点

### a) 出演者の問題

EMAに出張し番組制作を行うためには、制作スタッフのほかに、出演者も確保しなければならない。

出演者である教師および生徒は、制作期間中（最低30日間）授業を休むことになる。小学校を休んで番組に出演することに対し親の承諾を得ることが非常に難しく出演者の確保ができない。特に、低学年の児童の場合は、病気等健康管理面の問題等もあり、出演者の確保は非常に難しい。

### b) 制作経費

EMAで番組制作を行うための制作スタッフ数は、制作コーディネーター、プロデューサー、出演者（教師、生徒）等で約20名構成となる。さらに、小学生が出演者であるためその父兄が同行し総勢25名が出張することとなる。番組制作費以外に25名分の旅費、日当、宿泊費等が必要となりこの経費が各州教育局の重荷となっている。

### c) 番組制作上のトラブル

地方言語で書かれた脚本をEMAの職員が理解できず、プロデューサーや出演者とEMA職員の意思の疎通が図れない等、効率的な番組制作ができず、満足できる内容の番組が制作できない。

## (3) 既設スタジオのある州教育局

本プロジェクトの対象となっているオロミア州教育局、SNNP州教育局は既設ラジオスタジオを有しているが、番組制作活動に関し次の問題に直面している。

### 1) オロミア州教育局

オロミア州は、エチオピア国土の約32%（面積353,000km<sup>2</sup>）、人口の35%（21,046,000人）を占める最大の州である。

オロミア州は、12地区（ゾーン）に分割されており、それぞれ独自の言語、文化を持つ民族が居住している。オロミア州教育局は、州内の4ヵ所にラジオスタジオを整備し、

各地区(ゾーン)向けのラジオ教育番組を効率的に制作し、放送する計画を立てている。

すでに、ギンビ(オロミア州西部)、センダファ(オロミア州中央部)、ゴバ(オロミア州南部)の3カ所にラジオスタジオが整備されており教育番組制作を実施している。しかし、オロミア州東部地区にはラジオ送信所(アレマヤ送信所)が整備されているが、ラジオスタジオがなく東部地区向け教育番組の制作ができない状況である。オロミア州東部東ハラルゲ地区に新たにラジオスタジオを整備することにより東部地区の小学生(東ハラルゲ地区の小学生生徒数は、約673,125人でオロミア州内の小学生生徒(2,946,790人)の約23%を占める。)を対象としたラジオ教育番組を制作しアレマヤ送信所から放送することが可能となる。

オロミア州各ラジオスタジオで制作する教育番組対象地区は次のとおりである。

ラジオスタジオ	送信所	対象地区(ゾーン)
ギンビスタジオ (既設)	ギンビ送信所 ゴレ送信所	Mirabe Wellaga Eeast Wellega Illulatbor
センダファスタジオ (既設)	レガダディ送信所 アレマヤ送信所	Jimma Mirab Shewa Semen Shewa Misrak Shewa
ゴバスタジオ (既設)	ロベ送信所	Borene Arssi
ハラールスタジオ (要請サイト)	アレマヤ送信所	Mirabe Harrge Misrak Harerge Bale

ギンビスタジオ、センダファスタジオ、ゴバスタジオではそれぞれ小学校向け教育番組(G-1からG-8)として次の科目をカンバティ語、ハディニア語、デブレ語、オロモ語等を使用して制作している。

#### 科 目

地方語	: 28 本
英 語	: 28 本
社 会	: 28 本
理 科	: 28 本
地 理	: 28 本
生 物	: 28 本

各スタジオの年間番組制作本数は、

ギンビスタジオ	: 224 本
センダファスタジオ	: 336 本
ゴバスタジオ	: 224 本

各スタジオとも年間 8～10 ヶ月はフル稼働状態にあり、スタジオを貸し出す時間はない。東ハラルゲ地区は、イスラム教を信仰している住民がほとんどを占めており、キリスト教信仰者が多いオロミア州の中で宗教、文化のまったく違う特殊な地域であるため、制作する科目は同じでも内容はまったく違う番組となる。

東ハラルゲ地区から既設 3 スタジオまでは、一番近いセンダファまででも約 500km 離れている。各スタジオがフル稼働状態であることもあり既設 3 スタジオを使用してオロミア州東部向け教育番組を制作することは困難である。

## 2) SNNP 州教育局

SNNP 州教育局は、1998 年に建設したソドラジオスタジオで、9 言語を用いて教育番組を制作している。

この 9 言語は、SNNP 州のベンチマジゾーンおよびカファシェカゾーン以外の 7 つのゾーンに住む小学校で使用されている言語である。

SNNP 州教育局は、初等教育の公正という観点からベンチマジゾーンおよびカファシェカゾーンで使用している 4 言語（カファ語、マジ語、ベンチ語、シェカ語）を用いて教育番組を制作し放送したいとしているが、ソドスタジオにおける番組制作能力は、9 言語での番組制作が限度であり、新たに 4 言語での番組制作をするためにはスタジオ設備の拡充が必要である。

ベンチマジゾーンおよびカファシェカゾーンからソドスタジオまでは、約 850km 離れており、アクセスを考慮するとソドスタジオを拡充するよりは、ベンチマジゾーンおよびカファシェカゾーンの中心であるミザンテフェリにラジオスタジオを整備し番組を制作する方が効果的である。

なお、ベンチマジゾーンおよびカファシェカゾーンにおける小学校の合計生徒数は約 209,819 人で SNNP 州内小学生の約 12%にあたる。

SNNP 州のゾーン	小学校生徒数 (人)	使用教育番組
Gurage ゾーン	228,558	ソドスタジオで 制作する番組
Hadiya ゾーン	192,620	
Tembaro ゾーン	134,146	
Sidama ゾーン	417,917	
Gedeo ゾーン	84,271	
Semen ゾーン	424,797	
Debub Omo ゾーン	27,519	ミザンテフェリスタジオ で制作する番組
Kafa Shake ゾーン	132,426	
Bench Maji ゾーン	77,393	

( 出典 : Education Statistics Annual Abstract 1994 E.C ( 2001 / 2002 ) )

(4) ティグレイ州教育局（メケレテレビスタジオ）

ティグレイ州教育局の計画は、“ラジオによる教育放送に加え視覚に訴えることのできるテレビ教育放送を併用することで、より一層の教育効果が期待できるとして小学校高学年（G-7 および G-8）向けにティグレイ語でテレビ教育番組を制作し放送する。”という新しい試みである。エチオピア国内において、テレビ遠隔地教育番組を制作できる専用テレビスタジオが整備されているのは EMA だけある。

しかし EMA テレビスタジオは、年間 120 本の中等教育向け教育番組制作でフル稼働しており、ティグレイ州教育局が EMA テレビスタジオを借用し番組制作を実施することは不可能である。したがって、新しいテレビスタジオが必要となるが、メケレ市内に整備されているラジオスタジオの一部をテレビスタジオとして共用し機材整備し、テレビ番組を制作する。